

北海道産業振興条例施行規則の一部改正（素案）の概要（やさしい版）

1 規則の名前

北海道産業振興条例施行規則

2 規則改正の目的

会社が工場などを建てる場所を決めることを「企業立地」と言います。北海道に企業立地が増えれば、北海道で新しく「もの」が作られお金が回りやすくなる、みんなが働く場所が増えるなど、いろいろな良い効果が期待できます。

しかし会社が工場などを建てるためには、たくさんのお金が必要です。そのため北海道庁では、北海道産業振興条例施行規則を作り、その中で会社が工場などを建てる時の支援制度について定めています。

今回の規則改正では、会社への支援をもっと強化するために、この支援制度を変えることにします。

3 改正の内容

項目	内容
(1) 半導体関連産業について	・半導体を作る会社や半導体の製造を手助けする会社への支援を強化します。
(2) データセンター事業について	・データセンターを作る会社への支援を強化します。
(3) 環境に優しい産業について	・環境に優しい機械や燃料などを作る会社への支援を強化します。
(4) 雇用要件の引下げについて	・働く人を確保することが難しい会社も

	支援を受けやすくします。
(5) 地域への企業立地について	・みんなが住んでいる地域に立地する会社への支援を強化します。

4 改正のポイント

(1) 半導体とは、電気を流したり止めたりすることができる電子部品のことで、ゲームやスマートフォンなど私たちの生活の中でたくさん使われています。今までにない新しい半導体を作る工場が千歳市に建てられることをきっかけとして、半導体を作る会社や半導体の製造を手助けする会社が北海道に集まってくることを期待されます。こうした会社への支援を強化することで、北海道の企業立地を増やします。

(2) データセンターとは、インターネットのデータを送受信するために使われるたくさんのコンピューターを安全に保管する建物のことです。国が北海道をデータセンターの中心地とすることを決めたことや苫小牧市にとっても大きなデータセンターが建てられることをきっかけとして、北海道にデータセンターを作る会社やデータを使う会社が集まってくることを期待されます。こうした会社への支援を強化し、北海道の企業立地を増やします。

(3) 国が北海道を、環境に優しいクリーンエネルギーを使う技術やビジネスの中心地として指定したことをきっかけとして、環境に優しい機械や燃料などを作る会社が北海道に集まってくることを期待されます。こうした会社への支援を強化し、北海道の企業立地を増やします。

(4) 現在、日本では少子高齢化により人口が減っており、働く人の数も減っている中で、

すくない人数で仕事を続けられるように新しい機械を買う会社が増えています。こうした会社も北海道からの支援が受けられるように、支援を受けるための条件を引き下げることで、北海道の企業立地を増やします。

- (5) 現在、札幌市を中心に企業立地が進んでいますが、札幌市だけではなく、みんなが住んでいる道内各地域に企業立地が増えることが大切です。このため各地域に立地する会社への支援を強化することで、北海道全体の企業立地を増やします。

5 意見の出し方

スマートフォンやパソコンなどで、かんたんに手続きができます。

<URL>

<https://www.harp.lg.jp/fqmNuykL>

<QRコード>

